

2020年度活動報告

若干の退会があり、現存会員数は45人に。

◎(本日現在)45会員中、現職議員24、前元職8、候補検討者13。近畿35(大阪28・兵庫7)、中部2(愛知1・長野1)、北陸1(石川)、関東4(東京3)、東北2(福島・秋田)、九州2(鹿児島)

●政治情勢：年頭から新型コロナの世界的感染が始まり、収まる見込みが立たない。日本では自公政権・維新政治の無能有害さが人々を苦しめ続ける。9月に安倍退陣でスガ政権になったが不正腐敗強権の進行はやまず、民衆の生活苦と怒りはさらに高まった。

■労働運動と協同組合運動それ自体を否定するに等しい「連帯カンナマ大弾圧」が続いたが、武委員長・湯川副委員長ほか全逮捕者の保釈奪還がなされると共に、連帯労組支援の輪が着実に広がり、「反転攻勢」の情勢に入って来た。当ネット会員もまた引き下がる事無く奮闘した。

★会員は各地で自公維新政治反対・反ヘイト・辺野古基地反対・原発再稼働阻止、行政の適正化、連帯労組支援・コロナ対策等で奮闘した。

■会員の選挙<大阪府>4月大東市・光城市議5選、8月箕面市・中西市議5選、10月河南町・佐々木町議3選、10月泉南市・小山元市議落選、1月茨木市：山下市議復活9選<九州>4月鹿児島市：小川市議7選、1月西之表市・和田市議落選。

◎郵便ニュース+資料郵送は4回行なった。(3月・8月・12月・1月)

●「会員有志の発案企画による勉強会的集会」の年度方針は、2018年度も各人多忙で実行できなかった。

●従来の事務局員が遠隔地に転居した事に加えて、新たに事務局を兼務した戸田代表が健康問題などで年度中盤まで困難を抱えたため、事務作業がかなり滞ってしまった。

2021年度役員人事(案)

今年の会員の自治体選挙

代表：戸田ひさよし・前大阪府門真市議
(連帯ユニオン近畿地本顧問)

副代表：木村まこと・大阪府豊中市議
(森友問題追及で提訴等)

中西とも子・大阪府箕面市議

今年は会員が出馬する自治体選挙は無いと思われるが、衆院選挙が最も遅くても10/21までに実施される。「いつ衆院解散がされるか」は全く不明だが、衆院選で自公・維を叩き落として政権交代につながる衆院議席の大変化を勝ち取ろう!

2021年度活動素案

- 1：連帯ユニオンと力を合わせて、「警察権力・大阪広域生コンクリート協同組合・ヘイト右翼が結託した連帯労組攻撃」をやめさせる運動を引き続き展開していく。
- 2：連帯ユニオンの「反転攻勢」や書籍「武建一が語る 大資本はなぜ私たちを恐れるのか」の販売大増進運動に積極的に参与し、一般市民や行政に対する働きかけを強めていく。
- 3：反ヘイトの先進士達と協同を深め、「ヘイト扇動を許さないまちづくり」に奮闘する。
- 4：コロナ禍を悪用する生活雇用破壊に断固反対し、スガ政権打倒、改憲阻止、「自公維新」粉碎の野党共闘推進運動に積極参加する。
- 5：全原発の停止廃止を求める種々の運動と連携する。「沖縄意見広告運動」に協力する。
- 6：行政・企業の改善、地域住民の生活労働条件の向上に資するべく、会員相互・会員と連帯ユニオンとの連携を進める。「違法企業に甘い行政」の体質改善を共同して行なう。
- 7：郵便ニュース・資料発送を年間4～5回程度行なう。
- 8：会員の増加、議員会員の増加を目指し、選挙のある会員に出来る範囲での支援を行なう。
- 9：メーリングリスト(ML)活発に利用して情報・意見の交流や資料送付を広げていく。
- 10：第17回大会を2022年の2月前半に行なう。ほか。